

令和 7 年

国東市教育委員会 第 1 回 定例会

会 議 録

日時：令和 7 年 1 月 2 8 日（火）午前 9 時 2 6 分

場所：アストくにさき 3 階会議室

第1回定例会議事日程

会 期

令和7年1月28日（火）

開会 午前 9時26分

閉会 午前 11時05分

場 所

アストくにさき3階会議室

議 事

○令和7年度要保護・準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

○国東市スクールバス等の管理及び運行に関する規則の一部改正について

報告・説明事項

○区域外・校区外就学の報告について

○国東市公営進学塾夢道塾評価委員会設置要綱の制定について

その他

○令和6年度卒業式・卒園式の出席について

○令和7年度入学式・入園式の出席について

出席者（13名）

教育委員（5名）

教 育 長

岩 光 一 郎

教育長職務代理者

古 城 英美枝

委 員

手 嶋 秀 法

委 員

松 尾 泰 二

委 員

福 永 泰 信

教育委員会事務局（8名）

教育総務課長

村 井 奈穂子

学校教育課長

末 平 誠

社会教育課長

黒 木 宏 一

文化財課長

榎 本 雅 彦

図書館事務長

都 留 英 基

給食センター所長
教育総務課総務係総括リーダー
教育総務課総務係主事

高 橋 剛
河 野 裕 章
戸 高 南 美

【午前 9 時 2 6 分】

村井教育総務課長 開会宣言

【教育長あいさつ】

岩 光 教 育 長

【会議録署名委員指名】

岩 光 教 育 長 会議録署名委員に手嶋委員、古城委員を指名

【前回会議録承認】

全 委 員 承 認

【各課報告及び今後の日程】

村井教育総務課長 1 / 6 仕事始め式
1 / 6 令和 7 年新年互例会
1 / 6 管理職会議
1 / 28 教育委員会第 1 回定例会
1 / 30 令和 7 年度スクールバスの運行に係る保護
者説明会（旭日小学校）
2 / 8 小原小学校閉校記念式典
2 / 22 旭日小学校閉校記念式典
2 / 25 教育委員会第 2 回定例会
2 / 26 国東市議会第 1 回定例会開会

末平学校教育課長 1 / 7 臨時校長会議
1 / 8 3 学期始業式
1 / 17 統合小学校交流活動（特別支援学級③）
1 / 17 第 2 回幼保小連携協議会
1 / 21 統合小学校交流活動（2、3 年③）
1 / 22 第 3 回中学校教科研修協議会
1 / 23 第 1 回夢道塾プロポーザル審査委員会
1 / 24 第 5 回国東市校長会議
1 / 27 国東市学力調査報告会・第 3 回教務主任会

- 1 / 30 第2回人権教育主任会
- 2 / 5 第4回くにさき地区教育課程研究協議会
- 2 / 6 統合小学校交流活動（1年生③）
- 2 / 6 統合小学校交流活動（4、5年生③）
- 2 / 12 第2回くにさき地区校内研究部会
- 2 / 13 第2回部活動検討委員会

黒木社会教育課長

- 1 / 8 身になる人権講座⑤
- 1 / 12 二十歳のつどい（実行委員会主催の同窓会）
- 1 / 12 【第2弾】プロスポーツ教室（野球）
- 1 / 12 プロ野球自主トレーニング歓迎レセプション
- 1 / 22 第19回国東市駅伝競走大会職員説明会
- 1 / 22 第19回国東市駅伝競走大会監督会議
- 1 / 22 第19回国東市駅伝競走大会スポーツ推進
委員説明会
- 1 / 22 国東市人権を学ぶ会⑨
- 1 / 26 第19回国東市駅伝競走大会
- 2 / 1 優秀映画上映会
- 2 / 1 赤井英和×阪本順治トークショー
- 2 / 1 国見町人権フェスティバル
- 2 / 2 優秀映画上映会
- 2 / 8 くにさき生涯学習フェスタ
- 2 / 15 国東町人権フェスティバル
- 2 / 16 むさしカルティバル
- 2 / 19 県社会教育主管課長・担当者会議
- 2 / 22 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交
流会
- 2 / 25 R6第2回社会教育委員会

都留図書館事務長

- 1 / 9 あかちゃんおはなし会（くにさき図書館）
- 1 / 10 おたのしみプレゼントキャンペーン当選者
決定（3館）
- 1 / 11 おはなし会（くにさき・武蔵・安岐図書館）
- 1 / 12 おはなし会（国見図書館）
- 1 / 17 アールブリュット作品展（武蔵図書館・～1/31）
- 1 / 28 図書館ブックスタート（乳児3～5か月・
武蔵保健福祉センター）
- 1 / 30 図書移動作業（小原小から国東小へ）

- 2 / 8 おはなし会（くにさき・武蔵・安岐図書館）
- 2 / 9 おはなし会（国見図書館）
- 2 /13 あかちゃんおはなし会（くにさき図書館）
- 2 /25 蔵書点検（くにさき図書館・～2/28）

- 榎本文化財課長**
- 1 / 8 古代石がま講座⑧
 - 1 /10 たたら製鉄講座⑨
 - 1 /14 古代土器づくり講座⑨
 - 1 /18 第4回くにさき学推進委員会
 - 1 /21 古代とんぼ玉講座⑨
 - 1 /23 古代編物講座⑨
 - 1 /25 文化財防火デー（安岐町朝来 護聖寺）
 - 2 / 1 修正鬼会（岩戸寺）
 - 2 / 4 古代土器づくり講座⑩
 - 2 /10 駒打ち体験（国東小学校 昔のあそびクラブ）
 - 2 /12 古代石がま講座⑨
 - 2 /14 たたら製鉄講座⑩
 - 2 /18 古代とんぼ玉講座⑩
 - 2 /24 刀剣「行平」講演会（みんなんかん）
 - 2 /27 古代編物講座⑩

- 高橋給食センター所長**
- 1 /24 全国学校給食週間（1/24～1/30）
 - 1 /28 地元産「赤米」をご飯に混ぜた給食を提供
（国東給食センター・安岐調理場）
 - 1 /31 令和6年度学校給食費12月分納期限
 - 2 /13 令和6年度国東地区学校保健安全研究協議会
 - 2 /17 国東産「さわら」の学校給食を提供（安岐学校給食共同調理場）
 - 2 /19 国東産「さわら」の学校給食を提供（国見学校給食共同調理場）
 - 2 /27 国東産「さわら」の学校給食を提供（国東給食センター）
 - 2 /28 令和6年度学校給食費令和7年1月分納期限

岩光教育長 はい。それでは各課から報告及び今後の日程等ございましたが、委員さん方でご質問、ご意見等ございますか。はい。では、手嶋委員さん。

手 嶋 委 員 文化財課に質問なのですが、今月 24 日の刀剣行平の講演会の先生はどなたなのかということと、そもそもその現物がたどり着くのかということが質問です。

榎本文化財課長 今、講師の方と、パンフレットを作っている途中であります。今その講演会の山本さんの方に現物が届くかどうかお願いをしております、定員が大体 50 名を予定していますので、あと予定しているのが現場の、刀を作る場所の見学を予定しているのですけれども、人数的には大体二十数名程度を予定していて、今パンフレットを作りながら今募集している途中になっています。すみません。ちょっと回答になっていませんが、今作っている最中であります。

手 嶋 委 員 山本先生って。

榎本文化財課長 山本先生だったと思います。

手 嶋 委 員 はい。

岩 光 教 育 長 手嶋委員さん、よろしいですか。

手 嶋 委 員 はい。

岩 光 教 育 長 はい。それでは行事等について。はい、では古城委員さん。

古 城 委 員 文化財課にお伺いしたいのですが、駒打ち体験について、昔のあそびクラブが実施されるということでしょうか。

榎本文化財課長 国東小学校の中の昔のあそびクラブの方々が来られて、そこで駒打ちを、授業で行います。

古 城 委 員 生徒さんのクラブですか。

榎本文化財課長 そうです。

古 城 委 員 はい。分かりました。ありがとうございます。あと献立の件でお伺いをしたいのですが、一番上にありますので、国見町の方の献立の中で、キムタクごはんとか、18 日分ですか、2 月の。これは栄養士さんが考えられた名前と思ってよろしいでしょうか。

高橋給食センター所長 はい。そうですね。

古 城 委 員 ですよね、多分。カムジャタンとか、サムゲタンとか、もりですか。

高橋給食センター所長 献立の名称については、栄養士さんの方が考えられていまして、印象に残るネーミングにしているのだと思うのですけれども、内容については私もちょっと分かりかねます。結構色々な、特徴のある付け方をして、興味を引いている形になっているのだと思うのですけれども。

古 城 委 員 そうだと思います。

高橋給食センター所長 中身が、申し訳ないのですけれども、詳しく理解できていない分もありますので、私も初めて聞く献立名とかも結構ありまして、その度に聞いたりはしているのですけれども。

古 城 委 員 下を見たらキムチとたくあんでキムタクごはんかなとか、カムジャタンって、しっかり噛まないといけないのだろうとか、ちょっとそれは分かりません。そういうお料理があるのかなとか、ちょっと楽しいなというふうに思ったので、質問させて頂きました。以上です。

岩 光 教 育 長 はい。非常にネーミングはいいのだけれども、これはやっぱり献立としてお知らせするものですよね。だから保護者等にも配るのですよね。だからちょっとそこにコメントがあると、そこにどんなものが入っているのだろうとか、必要ではないかと思うのです。栄養士さん等に今度話してみてください。悪いということではなくて。内容がちょっと分かれば。

高橋給食センター所長 材料とかは工夫して下にかかれていたみたいなのですからけれども、紹介もしているところもあるので、一応そういう意見があったということで栄養士の中でお話をして頂ければと思います。

岩 光 教 育 長 多分、給食便りとか、そういうものにもしかすると補足説明しているのかもしれませんが。それはそれでもいいと思いますけれども。はい。その他、委員さん方。はい、手嶋委員さん。

手 嶋 委 員 学校教育課に質問です。3頁の2点なのですからけれども、小原の閉校式典と、4頁の旭日の閉校記念式典なのですが、合併等々について本会でも沢山の議論を重ねてきたと思います。そういった中で式典の準備やそれにまつわる色々な事業が順調に進んでいるのかどうかという点の確認と、一応ずっと話があったので、午前中時間を僕は空けているようにはなるべくしているのですけれども、委員は来なくていいみたいな感じになっているのですが、その辺はどうなのかというところを教えてください。

岩 光 教 育 長 では、交流については学校教育課で、式典については教育総務課からお願いします。

村井教育総務課長 式典の方についてです。式典の方は、地域の方、それから実行委員会が立ち上がっていますので、そちらの方と学校とでして頂いています。記念碑、記念誌等が出来る予定で、記念碑は出来上がっているということを聞いています。それ

から、今現在の状況なのですけれども、制服です。制服を今呼びかけているのですが、まだ集まってはいません。希望する調査、アンケートは取っておりますので、その家庭にはお配りしたいなと思うのですが、その数には全く至っていないというのが現状で、今後どのように考えていこうかなというふうに思っています。式典の出席についてなのですけれども、教育委員会、教育長の方にはご案内はきていますので、委員さん方について再度ご確認をさせて頂きたいと思えます。

末平学校教育課長

交流活動についてです。どの学年も3回はしようということで計画を立てて行ってきました。今のところ3回計画が立っていきまして、活動の後に子どものアンケート調査等を見ながら、不安があるかとか、心配なことがないかということを見取りながら行っています。今のところ4回目が必要だという学年はないということです。計画どおりに良い交流活動が出来ているかなと思っています。どの交流活動にも学校教育課から1名参観をさせて頂いています。私も見に行ったのですが、子どもたちの表情がとてもいいなというのが印象です。30人位で授業をする訳ですけれども、小原、旭日の子にとっては当然全校でやるような形です。国東小にとっても人数が増えて少し気持ちが高ぶっているところもあるのでしょうかけれども、しっかり学習をしている。楽しそうにしている姿が印象的ですし、休み時間になると、もうぱっと外に出て、よく見ないと小原の子か旭日の子か分からないという感じで遊んでいる姿が印象的でした。交流活動を3回する訳ですけれども、それ以降も気になることがあれば、やはり3校で連携を取って解決の方向は考えていきたいなと思っています。以上です。

手 嶋 委 員
岩 光 教 育 長

ありがとうございました。

はい、よろしいでしょうか。交流活動については本当に心配するところが多いのですけれども、今言ったように子どもたちの表情がいいのと、私も見に行ったのですけれども、先生方が本当に子どもたちへ細かな配慮をされています。グループ分けにしてもそうでしたし、活動の内容にしても少人数の学校ではない、今度は大人数の学級になるその良さ、全員で言葉を言ったり、歌ったり、そういった楽しさを感じ取らせるような配慮があるなというのはすごく感じました。はい。その他委員さん方から報告事項、今後の予定について

ご質問、ご意見はございませんでしょうか。はい、では福永委員さん。

福 永 委 員 給食センターにお伺いします。献立を見させて頂いて大分前にも意見を言わせて頂いたのですけれども、フルーツサンドとか、チョコチップパンとか、自分個人的には昼の食事とはちょっと思えないのですけれども。前回言わせて頂いた後に栄養士さん方にもしそういう話をして頂いていたのであれば、栄養士さん方がどういうお考えだったかとか、もし分かれば教えて頂けたらと思います。

高橋給食センター所長 直接そちらの方の意見交換は出来ていない状況なのですけれども、栄養士さんは、献立の作成については、子どもさんのニーズとかリクエスト取ったりしながら、色々工夫をしながら考えているところもあるのだと思うのですけれども、チョコチップパンとか、そういうのは大人気で皆さん喜んで頂いているというのもあって、どうしてもそういった方に、揚げパンとかも含めてそうなのですけれども、栄養士さん経験もございますので、出した後の残菜とかも含めて検証させて頂いて、やっぱり人気のあるメニューというのは頭に残っていますので、栄養価も考えながら、そこも含めてやっぱり残菜が少ない方がいいと思っていますので、栄養価も含めて考えながら工夫しながら提供させて頂いていますので、その辺はこれまでどおりでいいのかなというふうに思っております。大変申し訳ないですけれども。はい。

岩 光 教 育 長 福永委員さん、よろしいですか。

福 永 委 員 はい。

岩 光 教 育 長 給食の献立については、本当に一番は安心、安全ですよね。今日新聞に大分市が出ていました。ご飯の中に、何と言うか、鉄片と言うか、それが入っていたということで、安心、安全が一番だなと改めて今日感じたのですけれども。それともう一つは栄養バランスというところ。育ち盛りの子どもたちには、そこら辺を栄養士さんとセンター所長がしっかり話をしながらいつて頂ければと思います。はい、その他委員さん方からございますか。はい。福永委員さん。

福 永 委 員 すみません。今月23日に夢道塾のプロポーザル審査委員会というのが開催されておりますけれども、確認なのですけれども、また新しく業者を募るという捉え方でよろしいですか。

末平学校教育課長 はい。そこはすみません。お伝えしそびれていました。夢道

塾が今年で3年目が終わるということでありますので、この3年間の評価を、後程報告をいたしますが、評価委員会を立ち上げて、そして評価を行うのと同様に来年度も引き続きと言うか、業者は変わるかもしれませんが、切れ目なく4月1日から同じ様に学習塾ができるようにということで、3年目の区切りでありますので、評価とそれからもう一度新しい業者も含めてプロポーザルを行ってより良い事業にしていこうということでプロポーザルの審査委員会を立ち上げているところです。

福 永 委 員 まだ分からないかもしれませんが、手を上げてくださる業者さんが複数いらっしゃるのか、まあ今までどおりの一社になってしまうのか、わかる範囲で教えてください。

末平学校教育課長 はい。まだ募集をオープンにしていない状況ですので、一社になるか、二社になるかは、現状分かりません。二社位、複数になりますと、こちらもありがたいなというふうに思っています。

岩 光 教 育 長 はい、よろしいですか。3月上旬かな。予定していたのは。実際の審査会を。その他委員さん方、ございますか。よろしいでしょうか。

村井教育総務課長 教育長、すみません。先程の閉校記念式典なのですが、今小原小と旭日小に確認しました。小原小、旭日小とも松尾委員さんのみ今回ご案内をさせて頂きましたということでございました。よろしくお願いします。

岩 光 教 育 長 はい、それでは松尾委員さん、よろしくお願いします。

松 尾 委 員 はい。

岩 光 教 育 長 それでは、議事の方に入ってもよろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

【議 事】

議案第1号 令和7年度要保護・準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

村井教育総務課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉

岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

議案第2号 国東市スクールバス等の管理及び運行に関する規則の一部
改正について

村井教育総務課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉
岩 光 教 育 長 はい。これは、別表第1 国東地域の部国東市立国東小学校に通学する児童の項の中でいいのですか。
村井教育総務課長 そうです。
岩 光 教 育 長 国東小学校でいいのですね。
村井教育総務課長 国東小学校です。
岩 光 教 育 長 国見小学校ではないのですね。
村井教育総務課長 ここは国東小学校です。
岩 光 教 育 長 ここは、国東小学校は、赤松とかでいいのですね。
村井教育総務課長 はい。
岩 光 教 育 長 分かりました。その下が国見小学校で、今回国見中学校を付け加えるということですね。
村井教育総務課長 はい。そうです。
岩 光 教 育 長 はい。上は国東小学校ですね。今説明がございましたが、このことについて、ご質問、ご意見等ございますか。よろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

【報告・説明事項】

○区域外・校区外就学の報告について

末平学校教育課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉
岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

○国東市公営進学塾夢道塾評価委員会設置要綱の制定について

末平学校教育課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉
岩 光 教 育 長 よろしいでしょうか。運営委員さんとほぼ一緒なのですね。運営委員さんは皆さん知っていますかね。委員さん方はご存知ですよ。

末平学校教育課長 はい。
岩 光 教 育 長 今は別府大学の短期大学部の教授、檜崎先生を委員長にしています。それと、あと、国東高校のPTA会長さん。そして国東市のPTA連合会。これは小、中学校ですかね。その会長さん。それと国東高校の校長先生と、安岐中学校の校長先生。それと県の高校教育課の参事。というふうに、6名で今構成しているところです。はい、よろしいでしょうか。はい。では、福永委員さん。

福 永 委 員 塾の運営に関する評価というのは、運営の評価と実績の評価。もう少し具体的にこの運営の評価の分、実績の評価について、どういうことについてもっと詳しく、どういった感じで評価、どういった部分を評価するのか、もう少し詳しく教えて頂けないですか。

末平学校教育課長 はい。評価項目、目標設定してこの塾を運営してきています。例えば、塾の生徒120人受け入れを目標にしているところ。では、実際にそれがどうだったのかということであったり、大学への進学状況がどうだったかということ振り返っていくということでもあります。ちょっと、すみません。手元に資料がなくて、全部あれなのですが、評価項目を設定して、そして塾の成果がどうだったかということの評価していくということになっています。

福 永 委 員 評価に関して、こんなに人を入れて評価しないといけないのかと、自分は思います。これだったら別に教育委員会ですの実績とか運営に関しては、教育委員会が作られたのですから、自分たちで客観的に見て評価できることなのではないのかなと思うのですけれども。それ以外に何かそういう評価のしょうが、自分は必要性はあまり感じないのですけれども。

末平学校教育課長 はい。ありがとうございます。やはりプロポーザルを経て作られたこの塾の取り組みが、外部の方、第三者からの意見でもって、やはり多額の税金も使っているところもありますので、実際にどうだったのかという客観性、説得性というところを立てるためにも、教育委員会の中での評価も当然しますが、それに加えて第三者の、評価委員会というところの中での評価ということが必要だろうかというふうに考えています。

岩 光 教 育 長 客観性であったり、公明性であったり、公平性であったりというような部分において、第三者的なそれぞれの専門家の

方とか、保護者の方とか、実際に学校側とか、そういうような、県教委も入れてといった構成になっているのです。はい、では古城委員さん。

古 城 委 員 今の件について、当然入っているのかなと思うのですけれども、私が一番先に思いついたのが、利用された生徒さんの満足度みたいなのところかなと、ちょっと思っていたのですけれども、それも当然入っていると思ってよろしいですか。

末平学校教育課長 はい。ありがとうございます。毎年そこはアンケート調査をして、それを基に毎年評価はしています。今回はその3年分ということで、初年度から3年間のところをひっくるめてというか、その評価になろうかと思えます。

古 城 委 員 はい。ありがとうございます。

松 尾 委 員 よろしいですか。

岩 光 教 育 長 はい、では松尾委員さん。

松 尾 委 員 今、私の聞き間違いかもしれませんけれども、評価委員と運営委員と重なると聞いたような気がするのです。いいですかね。

末平学校教育課長 はい。多少代わるところがあります。役職指定のところでは3年間の内に、例えば高校教育課の参事が代わっているというところもありますし、保護者代表のところもPTAの関係者も代わっているところもありますが、同じ役職指定というところでは変わっていないです。

松 尾 委 員 評価委員のすることに、円滑な運営がされているかを評価するとなっていますよね。

末平学校教育課長 はい。

松 尾 委 員 運営をしている人が評価するというのは、何か変だなと思うのです。運営委員と評価委員が重なるとしたら、自分たちで自分たちの評価をするのか。

末平学校教育課長 この運営は、委託業務が、夢道塾が適切かつ円滑な運営がされているかという。

松 尾 委 員 それは委託ということだけですか。

末平学校教育課長 そうですね。塾の運営がどうかと、塾の取り組みがどうかというところの評価をするというのが評価委員の目的になります。

松 尾 委 員 ちょっとすっきりしないのですけれども、分かりました。

福 永 委 員 運営委員さんは何をするのですか。

末平学校教育課長 運営委員さんは、毎年年度の終わりに今年度の取り組みがどうだったかなと、評価まではいかないのですけれども、生

徒のアンケートの結果を集約、それを共有したりとか、学校からの要望とかいうところを、年度毎の振り返りというか、まとめをしていた会だと思っています。

福 永 委 員 もしかしたら、それだけで十分かなと。この評価委員を新たに設置する必要は別にないのではないかなと思います。

末平学校教育課長 はい。年度毎の振り返りなのですからけれども、今回3年目の区切りに当たるということなので、一応そこで3年間の総括というか、この業者はどうだったのかなというところを踏まえて、その評価をするというのが評価委員会です。年度毎の取り組みの様子、今年は人数がこうだったねとか、いうところはいくのですが、その委託業者の評価というところは出来ていないところでありますので、そこは今回評価委員会の中でしていくところが違うかなと思います。

福 永 委 員 塾なので、市がお金を出していますけれども、一般の会社の方が入ってくださって、指導をしてくださっているのですけれども、今年は例えば目標を掲げて、どういう大学に何人合格できるように頑張るとか、塾ってそれしかないですよ。塾の評価って。実績が全てではないですか。民間のその会社なので。だからそれ以外、実績が全てなので。それ以外の実績のしようがないですよ。その実績がクリアできたとか、もしかするとそれに近い位できたとか、それを大幅に超えることができたとか、その評価しか僕はないような気がするのです。それでも毎年毎年の評価で中々成果が上げられなかったということであれば、業者に対して、指導に関して問題があるのか、もしくは他に、また募集をかけて違う業者にして頂く方がいいのか、もうそれしかない気がするのですけれども。

末平学校教育課長 はい。この委託業者は、3年間という委託期間がある中で、3年間は基本的に同じ業者に委託をする。だけれども、その年度毎がどうだったのかということを改善を促すことも含めて行ってきたのが運営委員会ですが、今回は新たに業者を選定するというところを踏まえた3年間区切りというところで、客観的な成果も見えやすいところもありますが、生徒の感想であったり、学校からの感想等も踏まえて業者の評価をするというところで、今回そこはこれまでと違うのかなと思います。

岩 光 教 育 長 はい。運営委員という名前だからこの人たちが運営している訳ではなくて、所謂バース47かな。その業者がやっぱり

請け負ってやっているのだけれども、運営全体に関して色々な要望が出たり、改善とか、そういうこの運営委員さん方をお招きして、会社の方々がそちらにいらっしゃって意見交換をするというようなところを運営委員会というのでやっているようです。その色々な運営に関しての、こちら側の子どもたちの保護者代表もいますので、PTA会長もいますので、安全、安心に対する取組だとか、学習の個別対応についてとか、色々な運営上のことに対して改善をしっかりと行っていつているのかという項目もあったようにありますし、もちろん実績についても目標値に対してどうなのかというところも項目にありましたから、十何項目位だったかな。それに対して評価をしていくというような流れの中に、位置づけられている3年通して契約が切れる時期に。そういうような状況であります。どうでしょうか。他にご意見等はありませんか。はい、手嶋委員さん。

手嶋委員 ちょっと将来的なことになるのですが、この報告ですよね。評価委員会が行われて議事録というのが出来てくると思うのですが、教育委員会の方にも上げて頂いて、今中々良かった、悪かったというのが僕が評価委員会ではないので分からないので委員会の議事録、またその以前の運営委員会の議事録なんかでも、これは褒めているなとか、これはちょっとまずかったなというようなところが分かるような議事内容のものがあれば、出来る範囲、出来ない範囲、あると思うのですが委員会の方にも上げて頂いて委員同士で共有していくと、議論が抽象的すぎて分からなかったのも、具体的な材料があると話しやすいかなというふうに感じましたので、勿論今日ではなくて大丈夫ですので、また3年、もう3年は多分やろうという方向性になっているというように感じますので、委員会としてこういうところはこうした方がいいのではないかとこのところがメッセージとして伝えられるようになるには、そういった議事録がこちらにも上がってきて頂けるとありがたいかなと思います。以上が意見です。

岩光教育長 はい。夢道塾、子どもたちの将来の夢を応援するというか、支援をする部分ですので、その中身についてですね、今委員さんの方から分かる範囲で情報を共有したいということです。よろしいですか。はい、その他委員さんからご意見等ございますか。

全委員 はい、よいです。

【その他】

○令和6年度卒業式・卒園式の出席について

○令和7年度入学式・入園式の出席について

村井教育総務課長 〈配付資料をもとに内容について説明〉

岩 光 教 育 長 はい。今事務局の方から提案がありましたけれども、卒業式関係、入学式関係で期日と出席者という形で入っていますけれども、今の段階で都合が悪い委員さん方はいらっしゃるのでしょうか。いいですか。ではまた変更等がありましたら村井課長の方に連絡を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

○福永委員からの質問

福 永 委 員 教育長から頂いたこの資料で2番目のふるさと学というところがあるのですが、今すごく学校で子どもたち、地域を、郷土愛とか、地域のことを一生懸命学習に取り組んでおりますけれども、実際にこれに取り組んでその先はどういうところを見ているのかなど。例えば、また大きくなって国東市に帰ってきて、何か生活してほしいとか、どこら辺まで。ただこれを学ぶだけで終わるのか、その先がまだあるのか、この辺りはどういう感じですか。

末平学校教育課長 はい。ありがとうございます。これまで、私が子どもの頃とかは、あまり地元のことを学ぶ機会はなかったという印象があります。少子化というか、若者がいないという国東市の大きな課題の中で、地元のことを知らないまま外に出てしまうと、もう帰ってこないというか、中々帰って来辛いと思うのです。こうしたふるさと学を通して国東のことをよく知って、国東のことが好きになった上で外に、大学だったり、就職だったり出る子もいるでしょうし、地元に残りたいという子もいるでしょう。それはもう素晴らしいことだと思いますし、一度県外等、市外等に出ても、いずれ戻ってきたいなとか、そうか、地元に戻ろうかなというような選択肢に繋がるようなことも願いとして持っているのです。くにさき学の取り組みをしているところです。

岩 光 教 育 長 はい。今国東市の大きな課題として人口減少対策というのが出ています。それを教育側からどういうふうに解決の方

向に向かわせていくのかという、ひとつはやはり教育の中身も大事ではないかなと私は思っています。今課長の方から言ったように、まずはふるさとの、国東の良さを子どもたちに知ってもらおうということで、文化財課が中心になって、ふるさと丸分かりガイドブックだったですか、そういう物も作成しながら今年から取り掛かっている学習カードかな、そういうふうなふるさとの文化財も含めて、特産品とか、ふるさとの良さを子どもたちにまず知ってもらおうと、そして知った上で実際にどういうふうな思いで、そこでそういう活動をしていくのかというのも、また直接聞いたり、見たり、また体験したりしながら子どもたちにふるさと愛と言いますか、心を育てていけたらなど。そして、今唯一の高校ですけれども、国東高校があります。高校の方もこの前新聞にガイドブックですか、子どもたちが作ったと。やはりそういうふうに教えられるだけではなくて、今度は自分たちでふるさとに貢献できる、所謂体験もさせていくと。そして、ふるさとに残りたいという子どもを、これは選択ですけれども、子どもが選択の一資料としてというか、学習としてそういうことを周りの私たち大人がやっていこうと。そして、子どもたちが高校を卒業して、就職をする。または、大学に進学しても、またふるさとに戻ってきたいという子どもがいればということで。二十歳の集い等とかでも、市長は思いを込めて話をよくしています。そういう将来に向けては、そういうような思いを持ちながら、このふるさと学というのを今進めているというところであります。

福 永 委 員

ありがとうございます。自分も育った所が離れているので偉そうなことが言える立場ではないのですけれども、昔の日本と言うのは大体もうその家に、長男が後を継ぐと。そして、次男、三男がいれば、外に出て、家に残れませんから。そういうのが日本だった訳です。それがいつの間にか、最近の、やれ夢を持てとか、色々なことを言われて、どんどん皆が家に残らずに、どんどん外に出ていく状況がずっと延々戦後続いている訳です。それが結局はもう、集団就職とかありましたけれども、そういうのがあったから今のこういう地域の減少に繋がっているのではないかと。それが衰退していく中で、日本人としての精神的な物がどんどん失われていって、どんどん地方は衰退していくと。この取り組み自体はものすごく僕は必要なことだとは思っているのですけれども、この地域を守っていくということに関して、これが繋がっているという、この学習を通してその地域を守っていくということに繋がっていくのであれば、根本的な考え方を変

えていかない限りは、中々将来はそんな明るいものではないのではないかと思います。この授業は大切だと思いますけれども、これだけでは弱いのではないかなという気がしています。では、どうすればいいかということは、よく分かりませんが、もっと日本人としての精神的なものとか、そういったものをもう一度深く掘り起こして学習していくということも、中々変えるのは難しいでしょうけれども、地域を守っていくという面で考えれば、ちょっと違う発想で取り組んでいくことも必要になってくるのではないかと今思っています。

岩 光 教 育 長

はい。ありがとうございます。私は教育をして子どもたちに全員強制的に残すとか、そんなことは全く考えていない。子どもたちが夢を持って、その夢を応援してあげたい。でもその夢や希望を自分が探していく途中には、やはりふるさとの良さも知った上で選択をする。それは、しっかり応援していくということが、教育長としては、教育委員会としては大事なのではないかなというふうに私は思っています。先程福永さんが言われたこれだけでは勿論やはり社会の仕組みというのでしょうか、そういうところも地域にそういう良さや、地域での貢献をするとか、そういう価値観をやはり高めていかないと、中々そちらの方に若い世代が目を向けないという現実もあるということも、私も思っています。夢と言った時に、都会で華やかな生活をするのが夢なのだと。何かよく一旗揚げると言うのが昔よくあったのですけれども、それに流されていっている社会がまだずっと続いているのかなと。地域で働く価値というものをもっと私たち大人が示していくところも大事かなというふうに思っています。何か上手く言えませんが、福永さんがもっと根本的にというところが、私に伝わっているかどうか分かりませんが、以上が思いであります。はい、では古城委員さん。

古 城 委 員

すみません。何日か前に、大分合同新聞で、ちょっと覚えていないのですが、30年前の学校がこうだった、社会がこうだった。今はこうだけどというのが、何か一面分取ってあったなと思うのですが、その中で私がすごく感じたのは、国東市だけという訳ではなく、国東市も女性が最後だったと思うのですが、例えば、こっちもそうだったとか、お正月とかに女性が、女性は台所の近くでご飯を固まって食べて、というのは、うちだけだったのでしょうか。私もこちらの方に結婚して来たので分からないのですが、無意識の内に女性は国東市の中で中々自分たちも頑張

れるのだという意識が無い人がいるなど。私共が仕事の中で例えば採用を、この人に来て欲しいなと思う人がやっぱり大分に出ますというふうに言われます。国東市ではちょっとと言われる若い女の人。その人たちがどういうふうにしてそういうふうになってしまったのかというところとかで、若い女性が定着しにくい国東市は、原因が何処にあるのかというふうなことを、やっぱりそこが論議の中でいつも外れているなど私は思うところがあります。では、どうすればいいのかというところまで、今全然気が付いていないですけれども、考えていないですけれども、何かそこらも、私たちも頑張れるなというふうに思える、若い人も、女性でも頑張れるなと思える、そこら辺を入れて頂ければいいなというふうに思います。すみません。新年の互例会があります。私も十数年前から出ていて、女性の人数がとても少なく、一般参列者というのでしょうか、一般の企業の方とかが来られる中で、女性が本当に益々少なくなっているのです。前は何人かいらっしゃったから、私はそこに寄って一緒にお話をさせてもらったりしていたのですけれども、殆どいません。私でも何で今あそこに出ているかと言うと、誰か初めて来た人が、女性がいた時に、私がいれば少しはいいかなというふうに思って参加させてもらっているのです。そういうところが私は今一番女性が来た時に何とかまた来年も来たいなと思ってもらえるような感じの国東市だったらいいなというふうに思うので、参加させてもらっています。ちょっとまとまりませんが、はい、すみません。何かそういうのも入れて頂けたらなというふうに思います。

岩 光 教 育 長 はい。よく人権の中で隠れたカリキュラムと言いますよね。そういう雰囲気とか、何かそういう状況とか、そういうのがやっぱり非常に大事だと、人権という中で、理論は分かるのだけれども。やっぱりそういう国東市の中に、若い女性が魅力を感じるとか、子育てに非常にやり易いとか、何かそういうふうな部分を、意見を聞きながら、多分市の方も取り組んで行っているし、これからも行くのであらうと思います。私たちが教育の分野で、そういう部分をいかにサポートしていけるのかというところは、非常に大事なところだと思います。今のお話をお聞きしながら。是非できるところを取り組んで行きたいなと思っていますので、また皆さん、委員さん方のご意見とか、ご指南頂ければと思います。ありがとうございます。その他、委員さん方、よろしいでしょうか。はい。では、事務局に戻します。

【午前 11 時 05 分 閉会】

河野総括リーダー 閉会宣言

令和 7 年 2 月 25 日

(署名委員) 教育委員 手 嶋 秀 法 ㊟

教育委員 古 城 芙美枝 ㊟

(会議録作成者) 国東市教育委員会
事務局教育総務課総務係 河野 裕章